市の施策として志染駅~三木駅間の増便を実現

昼間時間帯の志染駅~三木駅間の運行が 現行の1時間に1便から30分に1便に!

30分間隔

30分間隔

30分間隔



新開地 方面

志染駅 恵比須駅

三木 ー. 上の丸駅

粟生 方面

三木駅間の増便を実現

市の施策として志染駅

30分間隔

がるものです。

なお、

30分間隔

30分間隔

間の上下各4便の増便を、

社会実験と

時台~午後2時台の志染駅~三木駅

3月14日土のダイヤ改正から、

午前

して2年間、

市の施策により実施しま

このたびの増便は、

市政懇談会など

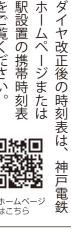
消し、 の来訪者も市内へアクセスしやすくな 鉄と協議を行い、 るほか、三木駅再生の後押しにもつな 用を促進します。 に1便となり、これまでの不便さを解 で寄せられた要望を元に、 木駅間の運行が1時間に1便から30分 っとともに、 これにより、 あわせて、 乗車機会の拡大による粟生線利 観光客など、 沿線地域のにぎわい 同時間帯の志染駅~三 実現するものです。 市が神戸電 沿線外から

づく

独自に増便するため、 染駅~三木駅間はト 間の上下各1便については神戸電鉄が 午前10時台の志染駅 昼間時間帯の志 タルで上下各5 小野駅

をご覧ください。駅設置の携帯時刻表











通勤・通学の重要な交通手段であ るとともに、地域間の交流や活性

日土にダイヤ改正が予定されて います。 である神戸電鉄粟生線を地域の三木市では、市内唯一の鉄道 生に向けた整備の進捗状況など 策による増便の概要や三木駅再 現します。 おり、その中で、市の施策とし 援施策や利用促進策を推進して 者数の減少が続く粟生線の維持 基幹交通として位置付け、 生線活性化策をはじめ、 より焼失した**三木駅の再生**にあ て志染駅~三木駅間の増便を実 また、 今月号では、市が取り組む栗 このたび粟生線では、 た取組を進めています。 ー)および新駅舎の整備に向 現在、 平成30年3月の火災に 駅前広場(ロー さまざまな支 市の施 3 月

(平成24~28年)

粟生線経営改善に対する支援

など

的支援(平成29年~令和元年) 新型車両の更新に対する重点

化に大きな役割を担う粟生線。

市独自施策による 粟生線利用者の増加数





補助などに係る神戸電鉄利用通院などに係る神戸電鉄利用

▼市独自の取組 ・神戸電鉄福祉パスの交付 ・神戸電鉄福祉パスの交付 ・神戸電鉄福祉パスの交付

ものだけで積算



栗生線活性化策の取組

調した取組や市独自の取組を次ため、市では、沿線市などと協乗生線の活性化や利用促進の

▼沿線市などと協調した取組のとおり実施しています。 神戸電鉄粟生線活性化協議会 による利用促進

※ 利用者数のカウントが可能な